

平成九年度研究所活動報告

研究会「弘法大師の思想とその展開に関する研究」

平成八年度にスタートした共同研究「弘法大師の思想とその展開に関する研究会」は、高木所長、山陰・佐藤・村上・武内・南各所員に、同九年度は学外から委託研究員として星宮智光・山下幸男・大久保良峻の三氏を加え、平成八年度は四回、九年度は十回の研究会（うち、三回は公開研究会）を開催し、個別研究期間を終えた。平成九年度に行なわれた研究会の発表者と題目は次の通り。

- 平成9年4月23日 武内孝善「空海と唐代の密教―灌頂をめぐって―」
- 5月27日 佐藤正伸「浄行について」
- 6月22日 山陰加春夫「弘法大師伝の完成と一円寺領の成立」
- 10月2日 南 昌宏「空海における中国思想の受容」
- 11月13日 武内孝善「東塔院義真阿闍梨記録円行入壇」をめぐって
- 11月26日(公開) 山本幸男「早良親王の境涯―奈良末・平安初期の政治と仏教―」
- 12月9日(公開) 星宮智光「中国仏教と『十住心論』」
- 12月11日(公開) 大久保良峻「台東面密における行位論」
- 平成10年1月20日 村上保壽「『日本霊異記』の史料性について―主として文学的研究における扱いを中心に―」
- 3月2日 高木神元「総括」

研究会「密教の形成と流伝に関する研究会」

平成八年度を準備期間として、九年度から発足した共同研究「密教の形成と流伝に関する研究会」は、高木所長、森・生井・乾・奥山・室寺各所員に、学外から委託研究員として山下博司・野口圭也・大塚伸夫三氏を加え、同年度に六回の研究会を重ねている（うち、二回は特別研究会）。発表者と題目は次の通り。

- 平成9年4月25日(特別) スニタナング比丘(バンングラデシユ、アジア協会研究員)「バンングラデシユの密教美術」
- 5月20日 生井智紹「華嚴経における陀羅尼」
- 7月24日(特別) 永ノ尾信悟(東京大学東洋文化研究所教授)「ヴェーダ祭式からヒンドゥー教儀礼へ」
- 10月11日 森雅秀「インド密教の形成に関する視点と方法」
- 室寺義仁「五相成身観の導入意図をめぐって」
- 12月19日 乾仁志「理趣経」と『金剛頂経』の関係について
- 平成10年3月4日 奥山直司「初期密教と『Saddharma Pāramitā』文獻」
- 大塚伸夫「華嚴経」「入法界品」と『金剛手灌頂タントラ』

研究調査

共同研究「弘法大師の思想とその展開に関する研究会」のメンバーによる研究調査が、平成八年度からのべ九回行われた。日程等は次の通り（かっこ内は参加者）。

- 〔平成八年度〕
- 2月3日 奈良県斑鳩町・法隆寺「修二会見学・調査」(佐藤所員)
- 2月14日 桜井市・長谷寺「修二会見学・調査」(佐藤所員)
- 3月10～12日 高松市・香川県立図書館「奈良末・平安初期の讃岐国内外の動向に関わる先行研究の調査と関係文獻の複写」(山陰所員)

3月12日 奈良市・東大寺「修二公見学・調査」と奈良国立博物館「特別展見学」(佐藤所員)

(平成九年度)

4月4日 5日 奈良市・薬師寺「修二公見学・調査」(佐藤所員)

6月22日 23日 京都・奈良「弘法大師関係史跡見学・調査旅行」(乙訓寺・伏見稻荷・泉涌寺・大安寺・久米寺・益田池堤跡・益田磐船・世尊寺・栄山寺) (高木所長、星宮研究員、村上・武内・山陰・佐藤各所員、北原研究員)

7月17日 19日 香川県「弘法大師関係史跡見学・調査旅行」(金倉寺・智証大師産湯の井戸・和氣氏子孫邸・捨身ヶ嶽・出釈迦寺・曼荼羅寺・大師遊墓・善通寺・方田横井・讃岐国分寺・満濃池・雲辺寺・弥谷寺・道隆寺・高照院・海岸寺・仏母寺・熊手八幡) (高木所長、星宮研究員、武内・山陰・佐藤各所員)

(平成10年)

3月18日 京都市・龍谷大学図書館「円行の入唐に関する史料調査」(武内所員)

4月9日 10日 東京・国学院大学図書館「円行の入唐に関する史料調査」(武内所員)

### 平成九年度研究所教員研究業績

高木 諄元

○著 書

「21世紀の真言密教」(『布教資料』三三) 高野山布教研究所 一九九八年三月 三九頁

「弘法大師の教学と共生思想―深秘釈の現代的意義―」 高野山真言宗教

一学部 一九九八年三月 四五頁

○その他

「異文化の対話と異宗教の協調(上)(下)」 『中外日報』二五七一九、二五七二一 一九九八年一月

「研究室紹介・高野山大学密教文化研究所」 『21世紀WAKAYAMA』二五 一九九八年三月 三九―四一頁

○口頭発表

「無所得のころ」 秋田中小企業金融公庫懇話会 一九九七年七月

「現代人と宗教心」 国連本部(ニューヨーク) 一九九七年一月

「異文化の対話と他宗教の協調」 ワシントン・カトリック大学 一九九七年二月

「大師の教学の現代的意義」 真言宗善通寺派教師研修会 一九九八年二月

山陰加春夫

○論文

「『高野合戦』攷―鎌倉末期政治史の一駒―(2)」 『高野山大学密教文化研究所紀要』一一 一九九八年一月 一一―二〇頁

○口頭発表

「中世文書機能論に関する一、二の問題」 第22回高野山史研究会 一九九八年二月

○その他

「日本人の魂―平重衡の生と死をめぐって―」 高野山大学生命倫理研究会編『生命倫理講座講義録(平成九年度) 生と死 生命の諸相』 高野山大学 一九九八年三月 三四―三五九頁

佐藤 正伸

○論文

- 「五輪投地次第」について 『高野山大学密教文化研究所紀要』 一一九〇八年一月 八一—一八六頁
- 「守覚法親王作『十八道次第』について」 『守覚法親王と仁和寺御流の文献学的研究(論文編)』 阿部泰郎ほか編 勉誠社 一九九〇年二月 三八九—四一六頁

森 雅秀

○著書

- 『マンダラの密教儀礼』 春秋社 一九九七年二月 二五—二頁

○論文

- 「インドの密教美術とビヤン・トンガ遺跡」 『西蔵石窟壁画』 頼富本宏監修 集英社 一九九七年一月 一一七—一二四頁
- 「バラ朝の金剛手・金剛薩埵の図像学的特徴」 『密教図像』 一六一—一九九七年二月 三五—五九頁
- 「バラ朝の弥勒の図像学的特徴」 『高野山大学密教文化研究所紀要』 一一—一九九八年一月 一—三八頁
- 「ヴァジュラヴァリー・マンダラ集」第十四番の概要 『高野山大学論叢』三三—一九九八年三月 五五—七二頁
- “The Synopsis of the Consecration Ceremony in the sNgags’rim chenpo (Chapters V-X).” 『密教文化』 一九九〇—一九九八年三月 一一—一九頁
- 「密教儀礼の成立に関する一考察 アビシエーカとプラティシユター」 松長有慶代表 『大乘仏教における密教の形成過程の研究』(平成七—九年度科学研究費補助金(基盤研究B) 研究成果報告書) 一九九八年一月 一五一—一六五頁

○口頭発表

- 「ツインマーマン・コレクションの『ヴァジュラヴァリー四曼荼羅』チベットにおけるマンダラ伝承の一事例」 美術史学会東部例会 一九九七年七月

○その他

- 「オリッサ密教美術の作例について」 国立民族学博物館共同研究会「聖性と世界との関係に関する研究」 一九九七年二月
- 「オリッサ州カタック地区の密教美術」 美術史学会西部例会 一九九八年三月
- 「図版解説」(マンダラ、忿怒尊、女尊の項) 『西蔵石窟壁画』 頼富本宏監修 集英社 一九九七年一月 三三—三八、五一—五九頁
- 「オリッサ州カタック地区の密教美術の研究」 『平成八年度三島海雲記念財団研究報告書』 三島海雲記念財団 一九九七年二月 五四—五六頁

村上 保壽

○著書

- 『諸仏諸菩薩讚歎經』 高野山出版社 一九九七年四月 一二—二頁

○論文

- 「弘法大師の『開題』を読む」 『堯榮文庫研究紀要』 一一—一九九七年九月 五九—六七頁
- その他

- 「宗団と同和問題」 『播磨支所報』 八四 一九九八年三月 二五頁(単著)

生井 智紹

○論文

- “On bodhicitābhāvanā in the Esoteric Buddhist Tradition.” *Tibetan Studies*.

*Proceedings of the 7th Seminar of the International Association for Tibetan Studies*, vol. II. (eds. by H. Krasser, et al.). Graz. 1997, pp.657-668.

「大乘仏教における密教の形成」とくに真言理趣による行の確立という側面から」 松長有慶代表『大乘仏教における密教の形成過程の研究』（平成七～九年度科学研究費補助金（基盤研究B）研究成果報告書 一九九八年三月 四五―九四頁）

武内 孝善

○翻刻・校訂

「『金剛峯寺建立修行縁起』の研究―（一）・本文校訂―」 『高野山大学密教文化研究所紀要』一一 一九九八年一月 二二―八〇頁

○その他

「覚教僧正編年史料集（二）―編年史料の部（二）―」 『密教学会報』三六 一九九七年三月 五六―一三三頁

○口頭発表

「実恵の受具・受灌年次」 日本印度学仏教学会第四八回学術大会 一九九七年六月

「弘福寺別当致」 密教研究会第三回学術大会 一九九七年六月

「『金剛峯寺建立修行縁起』と弘法伝説」 仏教文学会七月例会 一九九七年七月

「空海の入唐求法」 日本密教学会第三〇回学術大会 一九九七年一〇月

乾 仁志

○論 文

「『初会金剛頂経』の背景にある大乘仏教 如来蔵思想との関係を中心に」 『高野山大学密教文化研究所紀要』一一 一九九八年一月 二〇四―二二二頁

奥山 直司

○論 文

「ピアン・トンガ遺跡と敦煌の石窟寺院」 『西藏石窟壁画』 頼富本宏 監修 集英社 一九九七年一月 二〇四―二二二頁

「Sadhansatakaについて」 『印度学仏教学研究』 四六―二 一九九八年三月 一四二―一四七頁

「初期密教經典の成立に関する一考察」 松長有慶代表『大乘仏教における密教の成立過程の研究』（平成七～九年度科学研究費補助金（基盤研究B）研究成果報告書） 一九九八年三月 一二七―一四〇頁

○口頭発表

「Sadhansatakaについて」 日本印度学仏教学会学術大会 一九九七年

六月

○その他

「図版解説」(釈迦・仏伝、故事・説話、裝飾モチーフの項) 『西藏石窟壁画』 頼富本宏監修 集英社 一九九七年一月 三九―四一、六九―八〇頁

室寺 義仁

○論 文

“Gunamati’s Version of the *Pratīyosamutpāddāvīrangamīdśā*.” *Tibetan Studies: Proceeding of the 7th Seminar of the International Association for Tibetan Studies*, vol. II. (eds. by H. Krasser, et al.). Graz. 1997, pp.647-656.

「密教瞑想法の開いた「心」(citta)の神秘」 松長有慶代表『大乘仏教における密教の形成過程の研究』（平成七～九年度科学研究費補助金（基盤研究B）研究成果報告書） 一九九八年一月 一四一―一五〇頁

○論文

『韓非子』における哀公説話  
『高野山大学論叢』三三三 一九九八年  
二月 九五―一二二頁

平成九年度寄贈図書及び交換寄贈雑誌目録

左掲の寄贈図書及び交換雑誌は平成九年四月より平成十年三月末までの間に登録したものです。御寄贈者の諸機関ならびに諸氏には厚く御礼申し上げます。当研究所の図書充実のため、今後とも一層の御協力と御支援をお願い申し上げます。

寄贈図書

- アンコールワットとクメール美術の一〇〇〇年展 東京国立博物館ほか編 (朝日新聞社 平成9年) 甲田博史殿
- 印度学仏教学研究(33―1、37―2、38―2、40―1、41―1、45―2) 日本印度学仏教学会編 (同学会・昭和59年) 森雅秀殿
- インドネシア古代王国の至宝 東京国立博物館編 (インドネシア・日本友好祭97事務局 平成9年9月) 甲田博史殿
- ヴィジョンと現実 19世紀英国の詩と批評 (中央大学人文科学研究所研究叢書17) 中央大学人文科学研究所編 (中央大学出版部 平成9年3月) 編者殿
- 神奈備 大神 三輪明神 三輪山文化研究会編 (東方出版 平成9年6月) 甲田博史殿
- 月輪観の拝み方(善教振教化資料4) 佐伯泉澄著 (普通寺教学振興会 平成6年) 甲田博史殿
- 月輪観の拝み方 奥義編(善教振叢書1) 佐伯泉澄著

○空海研究(中日文版、第2集) (善通寺教学振興会 平成9年) 発行者殿  
空海研究編集委員会編 (福建美術出版社 97年5月) 静慈圓殿

○弘明集研究 上(遺文篇) 牧田諦亮編 (京都大学人文科学研究所 昭和48年3月) 発行者殿

○弘明集研究 中(訳注篇上) 牧田諦亮編 (京都大学人文科学研究所 昭和49年3月) 発行者殿

○弘明集研究 下(訳注篇下) 牧田諦亮編 (京都大学人文科学研究所 昭和50年3月) 発行者殿

○弘法大師誕生地の研究 乾千太郎著 (善通寺 平成3年) 高木神元殿

○弘法大師の書とその周辺 東寺宝物館編 (東寺宝物館 昭和62年) 甲田博史殿

○高野山増福院文庫聖教文書類目録 高野山大学附属高野山図書館編 (高野山大学 平成9年3月) 編者殿

○(第18回)高野山大宝蔵展 国宝阿弥陀聖衆来迎図―高野山靈宝館編 (高野山靈宝館 平成9年8月) 発行者殿

○金剛界マンダラの図像学的研究(平成7、8年度科学研究費補助金(基礎研究(C)(2))研究成果報告書) 乾仁志著 (乾仁志 平成9年3月) 著者殿

○『釈尊伝』講話(光華叢書2) 太田清史著 (光華女子大学・短期大学真宗文化研究所 平成9年3月) 発行者殿

○修験道修行大系 修験道修行大系編纂委員会編 (国書刊行会 平成6年5月) 甲田博史殿

○書のフォーラム(7、9、11、13、14)―空海と遺唐文化1、6― 翠書房編 (翠書房 平成9年5、12月) 飯島太千雄殿

○死と宗教 臓器移植(高野山大学生命倫理シンポジウム) 翠書房編 (高野山出版社 平成8年7月) 高野山大学殿

- 真言宗在家勤行講義 坂田光全著  
（東方出版 平成7年2月） 甲田博史殿
- 真言宗常用經典講義 坂田光全著  
（東方出版 平成9年8月） 甲田博史殿
- 真言宗の見た戦争—宗教と戦争を考える集いから—  
真言宗善通寺派青年会編  
（宗教と戦争を考える集い実行委員会 平成6年11月） 甲田博史殿
- 神道古典研究所紀要 第3号 神道古典研究所編  
（神道大系編纂会 平成9年3月） 発行者殿
- 神道書目叢刊6 〈林崎文庫・塩釜神社村井古殿奉納書目録 中〉  
谷省吾、吉崎久編 〈皇学館大学神道研究所 平成7年3月〉 発行者殿
- 新・仏教辞典〈増補〉 中村元監修  
（誠心書房 昭和61年2月） 甲田博史殿
- 十二天画像 東寺宝物館編 〈東寺宝物館 昭和63年9月〉 甲田博史殿
- 墨 一〇四—空海の風信帖— 芸術出版社編  
（芸術出版社 平成5年10月） 飯島太千雄殿
- 世紀末の神サマルポ・若者と宗教— 毎日新聞宗教取材班著  
（東方出版 平成5年10月） 甲田博史殿
- 生と死—その種々相— 〈生命倫理講座講義録〉  
高野山大学生命倫理研究会編 〈高野山大学 平成9年3月〉 発行者殿
- 田中千秋著作講話集 高野山大学密教教学研究室編  
（高野山出版社 平成4年10月） 甲田博史殿
- 大乘仏教における密教の形成過程の研究 松長有慶他編著  
平成7〜9年度科学研究費補助金〈基盤研究(B)(2)〉研究成果報告書  
（松長有慶 平成10年3月） 編著者殿
- 中世よこはまの学僧 印融—戦国に生きた真言密教僧の足跡—  
横浜市歴史博物館編 〈横浜市歴史博物館 平成9年10月〉
- チベット 中国人民美術出版社編〈美乃美 昭和56年5月〉 甲田博史殿
- 西藏大藏経丹殊爾勘同目録 大谷大学図書館蔵 二—二  
大谷大学真宗総合研究所編  
（大谷大学真宗総合研究所 平成8年3月） 発行者殿
- チベット仏教画像研究 ベンコルチュエド仏塔  
〈国立民族学博物館研究報告 別冊18〉 立川武蔵・正木晃編  
（国立民族学博物館 平成9年3月） 森雅秀殿
- チベット壁画 本生譚壁画選 中国人民美術出版社編  
（美乃美 昭和57年） 甲田博史殿
- 定本弘法大師全集 第6巻 弘法大師著作研究会編  
（高野山大学密教文化研究所 平成9年3月） 編者殿
- 定本弘法大師全集 第10巻 弘法大師著作研究会編  
（高野山大学密教文化研究所 平成9年3月） 編者殿
- 天理教の布教伝道〈伝道参考シリーズ8—一九九五年公開講座—〉  
天理大学おやさと研究所編  
（天理大学おやさと研究所 平成9年6月） 発行者殿
- 東寺の五大尊十二天〈その美しき対照—大治本と建久本—〉 東寺宝物館編  
（東寺宝物館 平成9年3月） 甲田博史殿
- 東寺の明王像 東寺宝物館編 〈東寺宝物館 昭和63年3月〉 甲田博史殿
- 東寺の両界曼荼羅図〈連綿たる系譜—甲本と西院本—〉 東寺宝物館編  
（東寺宝物館 平成6年10月） 甲田博史殿
- 西高野街道の里道標石をたずねて 歩こう会編集委員会編  
（橋本市観光協会） 甲田博史殿
- 21世紀 WAKAYAMA 〈和歌山社会経済研究所報22〜25〉  
和歌山社会経済研究所編 〈和歌山社会経済研究所 平成7〜10年〉  
発行者殿

○日本の写経 大山仁快・高崎直道解説

(京都書院 昭和52年12月) 甲田博史殿

○日本仏教学会年報 50〜53、55〜62 日本仏教学会編

(日本仏教学会西部事務所 昭和60年〜平成9年) 森雅秀殿

○日本仏教学会六十年のあゆみ 日本仏教学会編

(日本仏教学会西部事務所 平成7年9月) 森雅秀殿

○日本歴史 第五八四号 日本歴史学会編

(吉川弘文館 平成9年1月) 飯島太千雄殿

○仁山菟粹 岡本慈航著 (仁和寺事務所 大正3年11月) 甲田博史殿

○抜萃のつゞり 48、57 熊平製作所編

(熊平製作所 昭和56年、平成10年) 発行者殿

○パリー学仏教文化学 8〜10 パリー学仏教文化学会編

(パリー学仏教文化学会 平成7〜9年) 高野山大学殿

○東アジアにおける近代化の指導者たち(中国国際シンポジウム)

(国際日本文化研究センター 平成9年3月) 発行者殿

○比丘尼の戒律 中川善教著

(高野山大学仏教学研究室 平成2年3月) 甲田博史殿

○〈秘宝〉法会用具の美 東寺宝物館編

(東寺宝物館 平成1年3月) 甲田博史殿

○ポロブドールの減んだ日 金子史郎、金子民雄著

(胡桃書房 昭和59年6月) 甲田博史殿

○毎文社文庫目録(原田敏明先生旧蔵) 皇学館大学神道研究所編

(皇学館大学神道研究所 平成8年9月) 発行者殿

○曼荼羅諸尊図像(善通寺本〔戒壇院廻り〕)

(善通寺 平成8年9月) 発行者殿

○マンダラの密教儀礼 森雅秀著 (春秋社 平成9年12月) 著者殿

○密教瞑想の研究(興教大師覚鏡の阿字観)

(東方出版 平成8年11月) 甲田博史殿

○ヨーガに親しむ かしいけい(著) (東方出版 平成7年10月) 甲田博史殿

○Institute of Buddhist Studies 'The Pacific World' New Series: No. 11, 12. Berkeley: Institute of Buddhist Studies, 1996. 発行者殿

○International Research Center for Japanese Studies 'Nishinbun Japan Review' No. 8, 9. Kyoto: International Research Center for Japanese Studies, 1997. 発行者殿

○Mark Allon, Style and Function 'A study of the dominant stylistic features of the prose portions of Pali canonical sutta texts and their mnemonic functions' Studia Philologica Buddhica Monograph Series XII. Tokyo: The International Institute for Buddhist Studies, 1997. 発行者殿

○Oyasato Research Institute Tenri University 'Tenri Journal of Religion, No. 25. Tenri: Tenri University Press, 1997. 発行者殿

○Shashi Bhushan Dasgupta 'An Introduction to Tantric Buddhism' Third Edition. Calcutta: University of Calcutta, 1974. Bhikkhu Suntanandada 殿

○Tsultrim Kelsang Khangkar 'On the History of the Esoteric Buddhist Doctrine in India' Kyoto: Tibetan Buddhist Culture Association, 1994. 甲田博史殿

交換寄贈雑誌

1 あふひ・AOI(第3号)

京都産業大学日本文化研究所編(同研究所・平成9年9月)

2 アジア・アフリカ文化研究所研究年報(第31号)(一九九六年度)

東洋大学アジア・アフリカ文化研究所編(同研究所・平成9年3月)

3 アジア研究所紀要(第23号)

亜細亜大学アジア研究所編(同研究所・平成9年3月)

4 亜細亜大学日本文化研究所紀要(第3号)

- 5 叡山学院研究紀要(第20号) 叡山学院編(同学院・平成9年12月)
- 6 大倉山論集(第41輯) 大倉精神文化研究所編(同研究所・平成9年3月)
- 7 大谷大学真宗総合研究所研究紀要(第14号) 大谷大学真宗総合文化研究所編(同研究所・平成9年3月)
- 8 九州大谷研究紀要(第24号) 九州大谷学会編(九州大谷短期大学内九州大谷学会・平成10年3月)
- 9 教化研修(第40、41号) 曹洞宗教化研修所編(同所・平成9年3月)
- 10 京都産業大学日本文化研究所(第2号(一九九六年度)) 京都産業大学日本文化研究所編(同研究所・平成9年3月)
- 11 京都女子大学宗教・文化研究所研究紀要(第10号) 京都女子大学宗教・文化研究所編(同研究所・平成9年3月)
- 12 紀州経済史文化史研究所紀要(第17号) 和歌山大学紀州経済史文化史研究所編(同研究所・平成9年3月)
- 13 光華女子短期大学研究紀要(第35集) 光華女子短期大学編(同大学・平成9年12月)
- 14 光華女子大学研究紀要(第35号) 光華女子大学編(同大学・平成9年12月)
- 15 皇学館大学神道研究所紀要(第13輯) 皇学館大学神道研究所編(同研究所・平成9年3月)
- 16 国際シンポジウム(第9集) 飯田経夫、柏岡富英編(国際日本文化研究センター・平成9年3月)
- 17 国際シンポジウム(第10集) 国際日本文化研究センター編(同センター・平成9年3月)
- 18 国際日本文学研究集会会議録(第20回(一九九六)) 国文学研究資料館編(同館・平成9年10月)
- 19 国士館大学文学部人文学会紀要(第30号) 国士館大学文学部人文学会編(同学会・平成9年10月)
- 20 嵯峨美術短期大学紀要(第22号) 嵯峨美術短期大学編(同大学・平成8年12月)
- 21 信愛紀要(第36、38号) 和歌山信愛女子短期大学学術研究会編(同研究会・平成8年、10年)
- 22 真宗文化(第6号) 光華女子大学・同短期大学真宗文化研究所(同研究所・平成9年7月)
- 23 城西大学国際文化研究所紀要(第3号) 城西大学国際文化研究所編(同研究所・平成9年7月)
- 24 人文研紀要(第27、30号) 中央大学人文学部研究紀要(同研究所・平成9年11月)
- 25 人文研ブックレット(5) 映像で記録する『水俣―患者さんとその世界』 土本典昭著(中央大学人文学部研究所・平成9年3月)
- 26 人文研ブックレット(6) アイヌ民族から見た近代日本) 萱野茂著(中央大学人文学部研究所・平成9年8月)
- 27 西山学報(第45号) 西山短期大学編(同大学・平成9年7月)
- 28 禅研究所紀要(第25号) 愛知学院大学禅研究所編(同研究所・平成9年3月)
- 29 善通寺教学振興会紀要(第3号) 善通寺教学振興会編(同会・平成8年12月)
- 30 中央学術研究所紀要(第26号) 中央学術研究所編(同研究所・平成9年12月)
- 31 中央大学人文学部研究紀要(第18号(一九九六)) 中央大学人文学部研究紀要(同研究所・平成9年3月)
- 32 筑紫女学園短期大学紀要(第33号) 筑紫女学園短期大学編(同大学・平成10年1月)

- 33 筑紫女学園大学紀要〈第10号〉  
筑紫女学園大学編（同大学・平成10年1月）
- 34 智山教化センター年報〈第1号〉  
智山教化センター編（同センター・平成9年6月）
- 35 鶴見大学仏教文化研究所紀要〈第1、2号〉  
鶴見大学仏教文化研究所編（鶴見大学・平成8、9年）
- 36 天台学报〈第39号〉  
天台学会編（同学会・平成9年10月）
- 37 天理大学おやさと研究所年報〈第3号（一九九六）〉  
天理大学おやさと研究所編（同研究所・平成9年3月）
- 38 東京成徳大学研究紀要〈第4号〉  
東京成徳大学編（同大学・平成9年3月）
- 39 東京大学史料編纂所研究紀要〈第7号〉  
東京大学史料編纂所編（同所・平成9年3月）
- 40 東京大学史料編纂所報〈第31号（一九九五年度）〉  
東京大学史料編纂所編（同所・平成9年3月）
- 41 東北アジア研究〈第1号〉  
東北大学東北アジア研究センター広報委員会編
- 42 東北学院大学東北文化研究所紀要〈第29号〉  
東北学院大学東北文化研究所編（同研究所・平成9年1月）
- 43 東北学院大学論集〈歴史学・地理学 第30号〉  
東北学院大学学術研究会編（同研究会・平成10年2月）
- 44 東洋学研究〈第33号 里道徳雄先生追悼記念号〉  
東洋大学東洋学研究所編（同研究所・平成8年3月）
- 45 東洋学研究〈第34号〉  
東洋大学東洋学研究所編（同研究所・平成9年3月）
- 46 東洋学論叢〈22（印度哲学科篇・笠井貞教授退任記念号）〉
- 47 東洋大学中国哲学文学科紀要〈第5号〉  
東洋大学文学部中国哲学文学科編（同文学部・平成9年3月）
- 48 東洋の思想と宗教〈第14号〉  
早稲田大学東洋哲学学会編（同学会・平成9年3月）
- 49 奈良大学紀要〈第26号〉  
奈良大学編（同大学・平成10年3月）
- 50 成田山仏教研究所紀要〈第20号〉  
成田山仏教研究所編  
（成田山新勝寺成田山仏教研究所・平成9年3月）
- 51 日文研〈第16、18号〉  
国際日本文化研究センター編（同センター・平成9年2、7月）
- 52 日本研究〈第16、17集〉  
国際日本文化研究センター編  
（同センター・平成9年9月、10年2月）
- 53 日本語と日本語教育〈第25号〉  
慶応義塾大学日本語・日本文化教育センター編  
（同センター・平成9年3月）
- 54 比較文化〈第11号〉  
中央学院大学比較文化研究所編（同研究所・平成9年3月）
- 55 福井県立大学論集〈第11、12号〉  
福井県立大学編（同大学・平成9年7月、10年2月）
- 56 仏教学研究〈第53号〉  
龍谷仏教学会編（同学会・平成9年2月）
- 57 仏教学報〈第33輯、韓文〉  
東国大学校仏教文化研究院編（同研究院・一九九七年12月）
- 58 仏教研究〈第26号〉  
国際仏教徒協会編（同協会・平成9年3月）
- 59 仏教美術研究上野記念財団助成研究会報告書〈第27冊〉  
仏教美術研究上野記念財団助成研究会編（同会・平成9年3月）
- 60 仏教文化〈第37号〉  
東京大学仏教青年会編（同会・平成9年12月）
- 61 仏教文化研究論集〈第1号〉

- 62 平和と宗教〈第16号〉 東京大学仏教青年会編（同会・平成9年3月）
- 庭野平和財団平和研究会編（同財団・平成9年11月）
- 63 北陸宗教文化〈第9号〉 北陸宗教文化学会編（同学会・平成9年3月）
- 64 密教学〈第33号、加藤有雄名誉教授追悼号〉 種智院大学密教学会編（同学会・平成9年3月）
- 65 密教学研究〈第29号〉 日本密教学会編（同学会・平成9年3月）
- 66 民具マンスリー〈第29巻 11、12号・第30巻 1、2号〉 神奈川大学日本常民文化研究所編（同研究所・平成9年2月、10年3月）
- 67 龍谷史壇〈第107、108号〉 龍谷大学史学会編（同学会・平成9年3月、7月）
- 68 龍谷大学論集〈第450、451号〉 龍谷学会編（同学会・平成9年7月、10年1月）
- 69 立正大学人文科学研究年報〈第34号、別冊第11号〉 立正大学人文科学研究所編（同研究所・平成9年3月）
- 70 歴史と民俗〈14〉 神奈川大学日本常民文化研究所編（平凡社・平成9年9月）

### 平成十年密教文化研究所だより

平成十年七月七日、専任研究所員森雅秀・兼任研究所員山陰加春夫両先生の学位取得記念講演会と祝賀会を催した。森先生は既報のように、平成九年十月三十一日付けで学位請求論文「The Vajravahi of Abhayakaragupta」により、ロンドン大学からPh.D (Doctor of Philosophy)の学位を取得され、また山陰先生は平成十年三月二十四日付けで学位請求論文「中世高野山史の研

究」により、大阪市立大学から博士（文学）の学位を取得された。

当日は午後三時三十分より大学ホール会議室において、森先生が「インド後期密教のマンダラと儀礼」、山陰先生が「中世高野山の文書群の保管について」と題してそれぞれ約四十分講演があり、五時からは大学ホール食堂で祝賀会を開宴、宗団・学内教職員に参加を得て盛会であった。

共同研究「弘法大師の思想とその展開に関する研究会」は二年間にわたる各分担者の研究成果がまとめられ、平成十一年一月に『密教文化研究所紀要』別冊1「弘法大師の思想とその展開」として刊行した。掲載論文は次の通り。

高木諄元「日本密教形成序説」

佐藤正伸「日本密教受容の背景についての一考察―浄行をキーワードとして―」

山本幸男「早良親王と淡海三船―奈良末期の大安寺をめぐる人々―」

村上保壽「古代律令社会の民衆僧と空海」

南 昌宏「学制に見る空海入唐前の学問」

星宮智光「弘法大師空海の三教論と十住心体系」

武内孝善「唐代密教における灌頂儀礼―東塔院義真阿闍梨記録 円行人壇考―」

壇考

大久保良峻「台東両密における行位論の交渉」

山陰加春夫「中世『寺院縁起』の案出―讃岐国善通寺の場合―」

共同研究「密教の形成と流伝に関する研究会」は、昨年度に引き続き、学外から山下博司・野口圭也・大塚伸夫の三氏を委託研究員として加え、平成十年六月二十二日・十月十二日・同十一年二月二日の三回、研究会を行なった。三月に最終の会合を開いて各分担課題の研究期間を終える予定で、平成十一年度はその研究成果を公表することになっている。

インド・プーナ大学留学中の北原裕全専任研究員は、体調を崩すこともなく研究に励んでいる。平成十一年七月で二年間の留学期間を終え帰国する予定である。

密教文化研究所構成員名簿 (平成十年十二月現在)

所長	高木 諄元 (文学部教授)
専従研究所員	高木 諄元 (文学部教授)
〃	森 雅秀 (文学部講師)
兼任研究所員	生井 智紹 (文学部教授)
〃	山陰加春夫 (〃)
〃	乾 仁志 (文学部助教授)
〃	奥山 直司 (〃)
〃	室寺 義仁 (〃)
〃	佐藤 正伸 (文学部講師)
〃	南 昌宏 (〃)
専任研究員	北原 裕全 (聖母女学院短期大学国際文化
委託研究員	星宮 智光 (文学部特任講師)
〃	岩崎日出男 (文学部特任講師)
〃	山下 博司 (東北大学言語文化部助教授)
〃	野口 圭也 (種智院大学仏教学部講師)
〃	大塚 伸夫 (大正大学総合仏教研究所講師)
顧問	松長 有慶 (文学部教授)
研究所課長補佐	甲田 博史
専門員	甲田 博史
書記	日下 義眞
	中原 祥徳
	三星みや子 (非常勤)

【教職員人事】

○退任 平成十年三月三十一日付

山陰加春夫	専従研究所員
佐藤 正伸	〃
森 雅秀	〃
生井 智紹	兼任研究所員
村上 保壽	〃
武内 孝善	〃
乾 仁志	〃
奥山 直司	〃
室寺 義仁	〃
南 昌宏	〃
北原 裕全	専任研究員
星宮 智光	委託研究員
山本 幸男	〃
大久保良峻	〃
山下 博司	〃
野口 圭也	〃
大塚 伸夫	〃
○就任 平成十年四月一日付	
高木 諄元	専従研究所員
森 雅秀	〃
生井 智紹	兼任研究所員
山陰加春夫	〃

○異動 平成十年四月一日付

乾 仁志 〃

奥山 直司 〃

室寺 義仁 〃

佐藤 正伸 〃

南 昌宏 〃

北原 裕全 專任研究員

星宮 智光 委託研究員

岩崎日出男 〃

山下 博司 〃

野口 圭也 〃

大塚 伸夫 〃

田寺 則彦 図書館専門員（密教文化研究所課主任）

日下 義真 密教文化研究所課書記、密教学科事務助手

（庶務課書記）

中原 祥徳 仏教学科助手（短期雇用）

## 高野山大学密教文化研究所規程

### (総則)

第一条 この規程は、高野山大学(以下「本学」という。)学則第三九条に基づき、密教文化研究所(以下「研究所」という。)の目的及び組織等に必要事項を定めるものである。

### (目的)

第二条 この研究所は、真言密教の淵奥を究め、これを顕揚すると共に社会に貢献するを以つて目的とする。

### (事業)

第三条 前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- ① 弘法大師の著作研究
- ② 真言密教の研究並びに調査
- ③ 密教文化に関する共同研究
- ④ 国内外の研究機関並びに研究者との学術交流
- ⑤ 研究資料の収集及び整理並びに提供
- ⑥ 研究成果の刊行並びに公表
- ⑦ 研究会及び講演会の開催
- ⑧ 密教に関する情報サービス
- ⑨ その他の必要な事業

### (研究組織)

第四条 研究所に次の研究部門を置く。

- ① 基礎研究部門
  - ② 総合研究部門
- 2 基礎研究部門においては、日本及びアジア地域における密教の基礎的研究並びに基礎資料の調査研究を行う。
- 3 総合研究部門においては、密教の思想と文化並びに関連領域に

ついで総合的な比較研究を行う。

### (職員組織)

第五条 研究所に次の職員を置く。

- ① 研究所長 若干名
- ② 研究所員 若干名
- ③ 研究員 若干名
- ④ 第九条に規定する事務職員 若干名

### (研究所長)

第六条 研究所長は、本学専任の教授の中から学長が推薦し、理事長が任命する。

2 研究所長の任期は三年とし、再任を妨げない。

3 研究所長は、学長の下に研究所に関する事項を掌理する。

### (研究所員)

第七条 研究所員は、本学専任の教育職員の中から、研究所長が文学部長と協議の上推薦し、学長が教授会の議を経て委嘱する。

2 研究所員を専従研究所員及び兼任研究所員とする。

3 専従研究所員は、主として研究所の研究及び事業に従事する。

4 専従研究所員の任期は二年とし、再任を妨げない。

5 専従研究所員の担当する授業時間数等については、文学部長又は文学研究科長が研究所長と協議の上、学長がこれを定める。

6 兼任研究所員は、本務に兼ねて研究所の特定課題の研究又は事業に従事する。

7 兼任研究所員の任期は一年とし、再任を妨げない。

### (研究員)

第八条 研究員を専任研究員、委託研究員及び受託研究員とする。

2 専任研究員は、学長が研究所長と合議の上、教授会の議を経て任用する。

3 専任研究員の任期は一年とし、本学が必要と認める場合には、再契約をすることがある。

4 専任研究員は、研究所員の指導の下に研究及び事業に従事する。

5 委託研究員は、研究所長が推薦し、学長が委嘱し、教授会に報告する。

6 委託研究員の委託期間は一年とし、本学が必要と認める場合には、再委嘱をすることがある。

7 委託研究員は、研究課題に基づいて研究を行う。

8 受託研究員の受け入れについては、学長が研究所長と合議の上決定し、教授会に報告する。

#### (事務組織)

第九条 研究所の事務は、研究所課がつかさどる。

2 研究所課に課長、専門員及びその他の事務職員を置く。

3 事務職員は、研究所の事務又は事業に従事する。

4 専門員は、研究所長及び研究所課長の下に研究所の事業に関する特殊な専門的知識、経験等を必要とする分野の業務を直接処理する。

#### (運営)

第一〇条 研究所の運営を協議するために研究所に協議会を置く。

2 研究所協議会に関する事項は、別に定める。

#### (顧問及び賛助員)

第一一条 研究所に顧問及び賛助員を置くことができる。

2 顧問及び賛助員は、研究所協議会の議を経て学長が委嘱する。

#### (学則等の準用)

第二二条 この規程に定めるもののほか、研究所の運営に関し必要な事項は、

本学の学則及びその他の本学の諸規程を準用する。

#### (規程の改廃)

第一三条 この規程の改廃は、学長が研究所長とはかり教授会の議を経て、理事会の承認を得るものとする。

#### 附則

一 この規程は昭和三三年四月一日より施行する。

一 この規程は昭和五一年四月一日より施行する。

一 この規程は昭和五九年四月一日より施行する。

一 この規程は平成二年二月一六日より施行する。

一 この規程は平成三年二月一八日より施行する。

一 この規程は平成三年四月一日より施行する。

一 この規程は平成五年四月一日より施行する。

一 この規程は平成七年五月一日施行し、平成七年四月一日より適用する。

一 この規程は平成八年四月一七日施行し、平成八年四月一日より適用する。

『密教文化研究所紀要』 編集委員会規程

第1条 密教文化研究所（以下「研究所」という。）に、『密教文化研究所紀要』（以下「紀要」という。）編集委員会（以下「編集委員会」という。）を設ける。

第2条 編集委員会は、次の委員をもって構成する。

- (1) 研究所長
- (2) 専従研究所員
- (3) 「紀要」編集担当者

第3条 編集委員長は研究所長がこれにあたる。研究所課長は、幹事として編集委員会の事務を処理する。

第4条 編集委員会は研究所長が招集し、その議長となる。議長に事故あるときは、互選によって議長を選出する。

第5条 編集委員会は、次の事項を審議し、研究所協議会に報告する。

- (1) 「紀要」に寄稿された原稿の掲載の可否および掲載の時期の決定。
- (2) 「紀要」寄稿者への補筆および補正の要請。

第6条 委員の任期は1年とする。ただし重任を妨げない。

第7条 この規程の改廃は、研究所協議会の議を経て、研究所長が決定する。

附則

1 この規程は、平成九年四月一日から施行する。

『密教文化研究所紀要』 寄稿規程

第1条 『密教文化研究所紀要』（以下「紀要」という。）は、日本およびアジア地域などにおける密教の思想と文化に関する研究論文、研究ノート、研究資料、書評などを掲載発表することにより、密教文化の研究の発展に寄与することを目的とする。

第2条 「紀要」に寄稿することができる者は、次のとおりとする。

- (1) 研究所長
- (2) 研究所員
- (3) 研究員
- (4) 編集委員会が適当と認める者

第3条 原稿は、原則として四百字詰原稿用紙七十枚以内とする。

第4条 原稿は完全原稿とする。執筆者校正は再稿までとし、校正時の大きな変更・追加等は認めない。

第5条 寄稿された原稿は、査読委員会の査読を経て、編集委員会が掲載の可否および掲載の時期を決定する。また、編集委員会は、寄稿者に補筆および修正を求めることができる。

第6条 原稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。

第7条 寄稿者には、掲載誌二部および抜刷三十部を贈呈し、その経費は研究所が負担する。

附則

1 この規程は、平成九年四月一日から施行する。

## 『密教文化研究所紀要』査読委員会規程

### (設置)

第1条 密教文化研究所(以下「研究所」という。)に、『密教文化研究所紀要』査読委員会(以下「査読委員会」という。)を設置する。

### (目的)

第2条 査読委員会は、寄稿論文原稿を査読し、紀要の学術的価値の向上を計ることを目的とする。

### (構成)

第3条 査読委員会は、研究所長を委員長とし、研究所員若干名の委員をもって構成する。

2 委員長は、寄稿論文のテーマにしたがって、研究所員以外から委員を委嘱することができる。

### (任務)

第4条 委員は、寄稿された論文原稿について査読し、その学術的評価を判断して、その結果を委員会に報告する。

2 委員長は、各委員からの報告を受けて査読委員会を開き、論文掲載の可否を審議し、編集委員会に報告する。

### (任期)

第5条 委員の任期は1年とする。ただし重任を妨げない。

### (改廃)

第6条 この規程の改廃は、研究所協議会の議を経て、研究所長が決定する。

### 附則

1 この規程は平成九年四月一日から施行する。

執筆者紹介（掲載順）

甲田 宥咩 密教文化研究所専門員

武内 孝善 密教文化研究所兼任研究所員  
（文学部教授）

リチャード・K・ペイン  
仏教学研究所

（アメリカ・バークレー）

森 雅秀 密教文化研究所専従研究所員  
（文学部講師）

編集後記

『密教文化研究所紀要』第十二号をお届けいたします。今号には甲田宥咩、武内孝善、リチャード・K・ペイン、森雅秀各先生の論文を掲載いたしました。武内先生の資料翻刻は、先に行しました『密教文化研究所紀要』別冊1に収載された論文「唐代密教における灌頂儀礼―東塔院義真阿闍梨記録 円行入壇―考」における基礎資料の全文翻刻と影印です。合わせてご覧ください。リチャード・ペイン先生の寄稿論文は四国八十八カ所遍路と札所寺院の成立事情についての考察です。先生はアメリカ・カリフォルニア州バークレーにある仏教学研究所の教員で、主に中世日本の仏教と文学について研究されています。昭和五十七、八年高野山桜池院に滞在して得度・四度加行を行なわれ、その頃当研究所にも何度か来所されました。

第十一号の彙報に誤りがありました。「平成八年度研究所教員研究業績」のうち、佐藤正伸先生と森雅秀先生の項の「著書」は「論文」、森先生の「口頭発表」欄「密教と美術」は「宗教と美術」の、それぞれ誤りでした。お詫びして訂正いたします。

（甲田記）

高野山大学密教文化研究所紀要 第十二号

平成十一年二月二十一日印刷  
平成十一年二月二十五日発行

編集者 密教文化研究所

代表者 高木 紳元

発行所 密教文化研究所

和歌山県伊都郡高野山高野山大学  
電話 (0736) 513500 ☎ 0736-513500

印刷所 第一印刷出版株式会社

大阪市福島区福島七-131-1  
電話 (06) 64561571 ☎ 06-55310003